

住民の理解と自らの行動につなげるための 情報発信についてメディア機関と共有・連携

近年の温暖化による災害の激甚化、頻発化が顕著となっている中で、国としても災害から国民のいのちと暮らしをまもるための防災減災、そして国土強靱化のための5か年加速化計画を進めています。このような対策とあわせて、地域のリスク情報などを関係機関やメディアとの情報共有を通じて、住民等への情報伝達を行い、速やかな行動に結びつけていただくため情報提供と意見交換を行いました。



第1回 地域メディア連携協議会の概要

- 日時 令和6年6月13日(木) 10:00~11:30
- 場所 金沢河川国道事務所 2階会議室(Web会議併用)
- 参加団体 【行政機関】
 - 金沢河川国道事務所(事務局)
 - 石川県、金沢地方気象台【メディア機関】
 - 石川テレビ放送、北陸放送、テレビ金沢、あさがおテレビ、加賀ケーブル、北國新聞社

- 議事次第・情報提供
 - (1)金沢地方気象台
 - ・3か月予報と防災気象情報の変更点について
 - (2)金沢河川国道事務所
 - ・洪水についての基礎知識
 - ・手取川梯川流域タイムラインについて
 - ・昨冬の降雪対応について
 - ・大雨による道路の通行止めについて
 - (3)その他(現地視察会について)

○意見交換

各機関からの主な意見

- ・流域ステージの運用で、ステージ2に移行してからが長い場合があったので、改善できるよう検討して欲しい。
- ・現地視察会は取材機会があると参加しやすい。
- ・令和6年1月の大地震を受け、従来のハザードマップの見直し状況を教えて欲しい。
- ・「越水」と「溢水」は、どちらも「氾濫」として表現可能か。
- ・気象情報の量的予報で幅のない表現へ変更したことは画期的。

